

学生が地域にやってきた! (西区西支部 安心サポート講座)

2/28(木)、西区西支部は草津集会所にて安心サポート講座「救命講習」を開催しました。講師には広島の医学生、看護学生を中心に構成されている「HALS(ハルス)」という学生サークルの方々に来ていただきました。「HALS」はHiroshima Activities for Life Supportの略称で、市民向けに講習会を開き、心臓マッサージやAEDの使用法を広く知ってもらおうと活動されています。

今回は参加者21名、インストラクターは13名で、会場は人でいっぱいになりました。AEDを使って心肺蘇生をするときに



【指導の様子】



は、二人一組のグループにインストラクター1名が指導してくださり、中身の濃い練習ができました。参加者の殆どが60-70歳代の方々でしたので、体力的な不安もありましたが、そんな心配をよそに皆さん力強く心臓マッサージをされていました。これにはHALSのみなさんもビックリ!

最後に今日習

ったことをご家族ご近所にも伝えて、緊急時にAEDを使える人を増やし、安心して暮らしていける街を作っていきましょうということで講習会を締めくくって頂きました。

講習会終了後には、HALSの皆さんと参加した組合員でお茶を飲みながら医療生協の班活動や健康チェックなどの活動、世間話などおしゃべりをして楽しい世代を越えた交流の時間を過ごすことができました。この取り組みをきっかけに学生と地域が繋がっていくと良いですね☆

※ フェイスブック (facebook) に救急蘇生の動画を掲載しています。是非ご覧ください。



【HALSの皆さんと記念撮影】

「中央公民館合同フェスティバル」114人健康チェック!

今年も広島中央公民館合同フェスティバル(3/2~3)が開催され、中区北支部は健康チェックとコーヒー販売を行いました。

健康チェックコーナーでは基町訪問看護ステーションの看護師さんと現在民生委員をしている看護師さんにも手伝っていただき、「今年も健康チェックお願いしますね」「大腸がん検査、ここでももって帰って受けているのよ」



【健康チェックコーナー】



【ストレッチ体操】

など、毎年楽しみに来られる方なども多く、2日間で延べ114人の健康チェックを実施し、大腸がん検査は21人に普及することが出来ました。一日目には、中区スポーツセンターの指導員さんによるストレッチ体操もあり、座ったまま自宅でもできる体操をみんなでおこないました。

